

## 清掃工場での官民連携によるCO<sub>2</sub>回収の技術開発について

清掃一部事務組合が管理運営する清掃工場のプラントメーカー2社より、CO<sub>2</sub>回収技術開発への協力要請がありました。本事業は、2050年カーボンニュートラルの目標達成に向け、官民が連携する技術開発事業を国が支援する事業の一環です。当組合は国内で最も多くの清掃工場を保有しており、廃棄物分野での脱炭素化への寄与度も大きいと考えられることから技術開発に協力し、社会全体のカーボンニュートラルに貢献していきます。

### 1 板橋清掃工場（日鉄エンジニアリング株式会社）

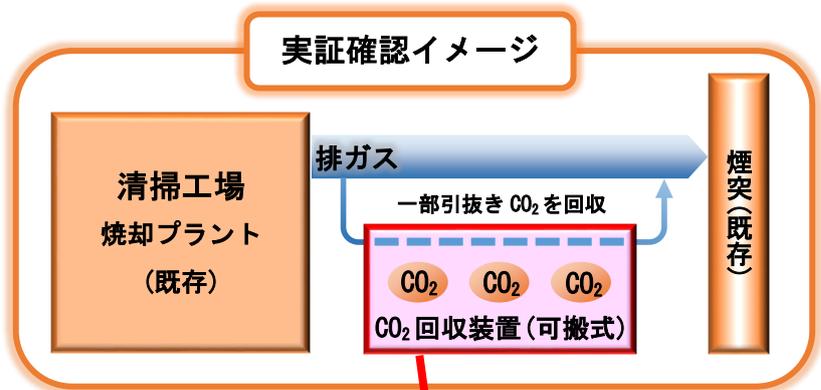
#### 技術開発の概要

- ① 板橋清掃工場の煙突付近にCO<sub>2</sub>回収装置を設置し、排ガスの一部を引き抜いてCO<sub>2</sub>を回収し、実証確認するものです。
- ② 回収装置は小型で可搬式であり、速やかに機器据え付けと実証確認ができます。
- ③ 工場操業に影響はなく、設置したCO<sub>2</sub>回収装置は実証確認完了後に撤去します。
- ④ 清掃一組は技術的助言を行うなど、官民が連携して開発を進めます。
- ⑤ 期間は令和7年（2025年）3月31日までの約1年間の予定です。
- ⑥ 経費は日鉄エンジニアリング株式会社が負担します。



板橋清掃工場  
(平成14年11月しゅん工)

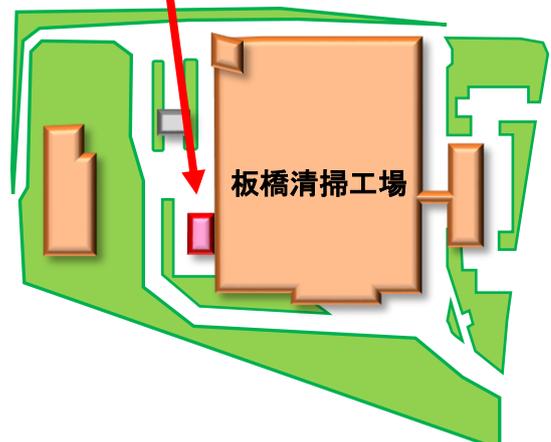
#### 実証確認イメージ



#### 可搬式のCO<sub>2</sub>回収装置



写真:日鉄エンジニアリング株式会社提供 無断転載禁止



## 2 品川清掃工場（日立造船株式会社）

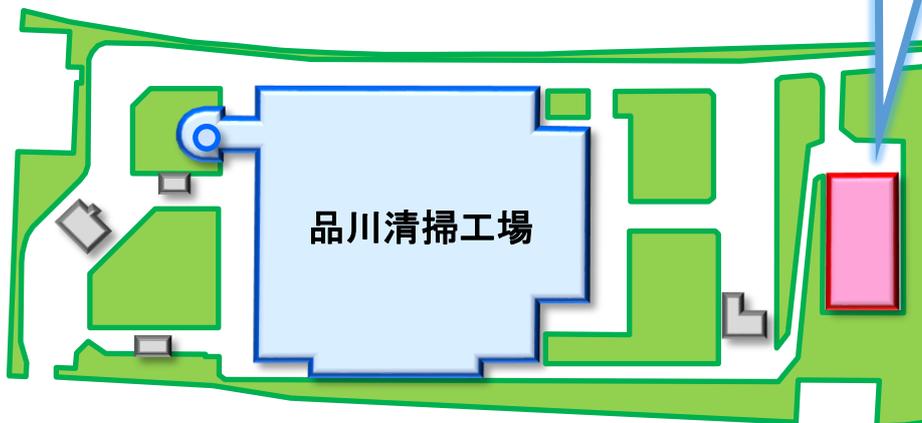
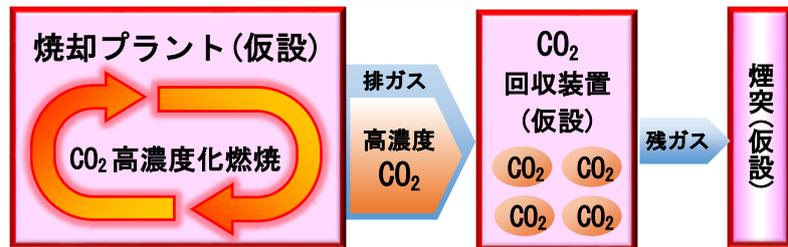
### 技術開発の概要

- ① 品川清掃工場の敷地内に、ごみの燃焼からCO<sub>2</sub>の回収まで一連の実証が可能なプラント設備を新たに仮設し、実証確認するものです。
- ② 本技術開発の特徴は、ごみ焼却排ガス中のCO<sub>2</sub>を高濃度化して効率良く回収する新たな焼却システムで、スラグ貯留場に設置します。
- ③ 工場操業に影響はなく、仮設したプラント設備は実証確認完了後に撤去します。
- ④ 清掃一組はごみ供給や技術的助言を行うなど、官民が連携して開発を進めます。プラントメーカー側も大学の研究機関と連携し、データ解析などを行う予定です。
- ⑤ 期間は令和13年（2031年）3月31日までの約7年間の予定です。
- ⑥ 経費は日立造船株式会社が負担します。



品川清掃工場  
(平成18年3月しゅん工)

### 実証確認イメージ



【お問合せ先】 施設管理部技術課 TEL 03-6238-0745